



学校だより
**桜っ子
通信**

校訓
自ら学び
自ら考え
自ら行う

令和5年9月22日 第89号
長崎市立桜町小学校長 野中正樹

桜っ子くんち稽古開始に向けて

古今和歌集に収められている短歌「秋来ぬと 目にはさやかに 見えねども 風の音にぞ おどろかれぬる」にあるように、日中は、まだ暑い日もありますが、朝晩は少しずつ過ごしやすくなり、秋の訪れを感じる季節となりました。保護者の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

桜町小学校の4年生教室からは、くんちのしゃぎりをリコーダーで練習している音色が聞こえてきます。10月中旬から始まる桜っ子くんちの稽古開始に向けて、それぞれの学年で準備が進んでいるところです。

9月21日（木）には、五嶋町の中村さん、南部さんにお越しいただき、長崎くんちや五嶋町の龍踊にまつわる貴重なお話を5年生にさせていただきました。その時の様子を学年主任の小林教諭が次のように振り返ってくれました。

1634年から389年続いている長い歴史をもつ長崎くんち。五嶋町の龍踊は、籠町、諏訪町、筑後町に続いて4番目に始めたまだ歴史は浅いものですが、「高く！速く！！」をコンセプトにし、龍踊を教えてくださいました滑石地区の方への感謝の思いや、町全体の一体感を大切にしながら文化を受け継いでおられます。また、龍踊は、中国で雨乞いの儀式として行われていたもので、目は鬼の目、頭はラクダ、角は鹿・・・と様々な動物を合わせた架空の動物であること。月を表す玉を龍が飲み込むことで、雨雲を呼び込み、雨を降らす動きを表している踊りであること。ラッパは龍の鳴き声、パラパラは雨の音を表していることなどを教えていただきました。

さらには、成功させるためのアドバイスを受け、5年生の子どもたちは、「町の人の思いを大切にしたい。」「見ている人や町の人を元気づけたい。」「一人一人が責任をもって取り組みたい。」「心一つにして頑張りたい。」と一人一人が桜っ子くんちへの思いを強くしました。

最後に、掛け声「招宝」（チャパバ）には、福を招く意味があることということで、桜っ子くんちの無事の成功と、怪我なく本番を迎えることができるようにとの思いで「招宝」を唱和して終わりました。

児童引渡訓練について

既にご案内のとおり、9月27日（水）に児童引渡訓練を実施します。この訓練は、「校区内に刃物を持った不審者が潜んでいるかもしれない」という想定で、お子さんを保護者様及び学童保育に引き渡すものです。万が一の際に子どもたちの安全を確保するための大切な訓練ですので、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。つきまして、以下の留意事項を改めてご確認ください。

- 児童引渡開始時刻は、15時とします。
 - お迎えに来られる方は、保護者様または祖父母様とします。
 - 学童保育や放課後デイサービスに通っている子どもたちは、原則そちらに引渡します。
- 【引渡ができる学童】
桜町学童・ドリーム・レインボー・あじさい・星座クラブ→学童保育にお迎えに行ってください。
- 【引渡ができない学童】
友愛八幡→学校にお越しください。
- 兄弟・姉妹が在籍しているお子さんは、一番下の学年の教室にお迎えに来てください。
 - 16時30分以降の引渡については、2階図書室前で行います。
 - 当日は、子どもだけで塾や習い事等に行くことはできませんので、ご注意ください。
 - 学校敷地に自家用車は入れません。
 - 学校敷地に入る際は「来校者証」をご着用ください。

九州大会に出場しました！

8月26日（土）から大村市で開催された、全九州小学生バレーボール優勝大会に、桜町小バレーボール部が長崎県代表として出場しました。予選リーグでは、草牟田（鹿児島）と度島（長崎）に惜敗しましたが、順位決定トーナメントでは、みかつき（佐賀）及び瓜生野（宮崎）に連勝し、トーナメント準優勝を手にすることができました。野村主将を中心に、最後まで諦めずにボールを追いかける姿に感動しました。バレーボール部のみなさん、よく頑張りました！